

概要版

第6次湖西市総合計画

第2期 湖西市 まち・ひと・しごと創生総合戦略



「ひと・自然・業(わざ)」がつながり
未来へ続く わがまち KOSAI

湖西市

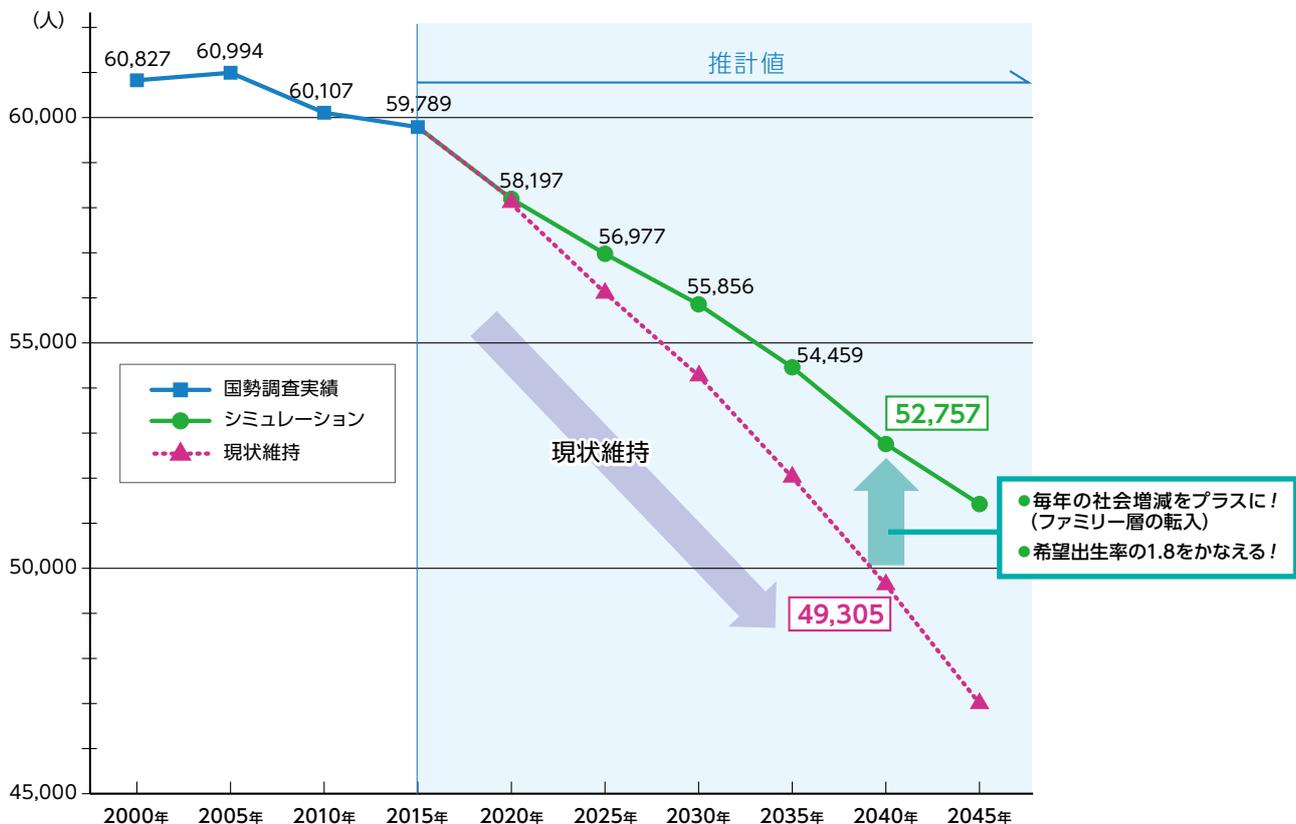
総合計画の位置付け

誰もが「住みたい・住み続けたい」と思えるまちづくりの指針となる第6次湖西市総合計画を策定します。総合計画は、市の最上位計画とし、他の個別計画は総合計画の方針に基づき、策定し実行していくものとします。

また、第6次湖西市総合計画は、人口減少克服と地方創生を重点に、数値目標や重点業績評価指標（KPI）を設定します。「総合計画」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、両計画の目的、重点業績評価指標（KPI）の設定等を相互に補完することにより、効率的・効果的な進行管理が可能となることから、これらを融合し一元管理します。

年 度	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15
経過年数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
基本構想	計画期間 13年間												
実践計画	Ⅰ期 計画期間 5年間					Ⅱ期 計画期間 4年間				Ⅲ期 計画期間 4年間			

将来人口ビジョン



団塊ジュニア世代（1971～1974年生まれ）が65歳以上となり高齢化のピーク期を迎える2040年には、湖西市の人口は5万人を下回る見込みです。

毎年の社会増減をプラスにし、希望出生率をかなえることができれば、人口減少に歯止めをかけることができます。

基本構想

KOSAI 2040 (2040年の理想の姿)

湖西の将来の理想の姿を明確にし、着実に実現していくため、2040年の理想の姿「KOSAI 2040」を示します。

1. 安心して暮らすことができるまち

都市基盤が整えられ災害に強いまちづくりが進み、地域住民の災害への意識も高く、安心して暮らすことができるまちになっています。

また、超高齢社会の中でも、地域ぐるみでの助け合いができており、地域医療体制や公共交通も充実し、誰もが不自由なく生活しています。

2. 結婚・出産・子育ての希望がかなえられ、誰もが活躍できるまち

結婚・出産・育児の相談・サポートや、子どもを連れて遊びにいける場所の充実、待機児童・入所待ち児童ゼロなど安心して子どもを出産し、育てる環境があります。

また、将来を担う子どもたちが学び、育つ教育環境も充実しています。

そして、性別、年齢、国籍を問わず、誰もがいきいきと活躍できるまちとしての風土が醸成されています。

3. 稼ぐ力に満ち、安心して働けるまち

郷土の偉人、豊田佐吉翁のチャレンジ精神を受け継ぎ、モノづくりのまちとして全国に名を知られています。モノづくりは、ヒトづくり。モノづくりを支える人材が次々と育まれています。

工業とともに、農業、漁業、商業も盛んで、地域の活力や賑わい、多様な働く場を生み出しています。

4. 新たなつながりを築き、新しいひとの流れがあるまち

湖西に住むひと、訪れるひと、生まれ育ったひとや様々な国籍のひと、子ども、おとななど、多くのひとに湖西の魅力が認知されています。

これらのつながりがさらに広がり、絆が生まれ、地域に関わり、結びつくひとが増えることで移住・定住へとつながっています。

「ひと・自然・業(わざ)」がつながり 未来へ続く わがまち KOSAI

込められた想い

湖西は、産業、自然、文化、全てのバランスが良いまちです。

風光明媚な浜名湖、遠州灘、湖西連峰に囲まれ、うなぎ、カキなどの水産物にも恵まれ、釣りやマリンスポーツ、トレッキング等、多様なレジャーを楽しむことができます。豊かな自然は、人々に安らぎと潤いを与え、日常生活に密着しています。

また、古来から、東海道の要衝としてまちが盛え、ひとのつながりも強く、地域の祭りやイベントは大いに盛り上がります。

中心産業は自動車関連産業で、製造品出荷額は全国でもトップクラスです。モノづくり産業の躍進は、郷土の偉人豊田佐吉翁のモノづくりの精神が原点となっており、その精神は脈々と受け継がれています。

一方、田園風景が広がる地域もあり、畜産や花卉栽培など農業も盛んです。

工業における「業」、商業における「業」、農業における「業」、漁業における「業」、地域文化の「業」など先人から引き継いだ「業」が湖西には数多くあります。

「常に時流に先んずべし。」「障子を開けてみよ、外は広いぞ。」

これらの「自然」、「業」を次世代に伝承するとともに、先を見据えた新しい考え方、生活様式等の変化を的確に捉え、将来に向け持続的に発展していくには、「ひと」との関わりが欠かせません。また、未来にはばたく「ひと」が育ち、成長する機会を絶やしてはなりません。

湖西の「ひと」、「自然」、「業」が相互に、時には柔軟に、時には強くつながり、相乗効果をもたらしていくように。

そして、誰もが愛着を持てるまちにしたい、そんな想いを込めました。



実践計画

■ 実践計画のテーマ

働くまちから 働いて暮らすまちへ 「職住近接」

湖西市は、自動車関連産業が集積する工業都市で、製造品出荷額は、静岡県下で静岡市、浜松市に次ぎ第3位となっており、市外から約15,000人が通勤する「働くまち」です。

人口減少・少子高齢化が進む中、湖西市が持続的に発展するためには、市外からの通勤者やその家族が、湖西市に定住することが生命線と言えます。このため、住環境の整備や、移住定住促進策を講じることにより、移住者や市民が自然豊かな湖西市でのゆとりあるライフスタイルを送ることができるよう「職住近接」を推進していきます。

また、市民生活の利便性を確保するために、次世代交通を活用した各地域をつなぐ公共交通の拡充を図るとともに、安心して子どもを育てられるまちを目指し、結婚・出産・子育てに関する施策を展開します。

2020年に感染が拡大した新型コロナウイルス感染症は、産業に大きな影響を与え、社会にも大きな変化をもたらしています。今後も湖西市が働くまちとして持続的に発展するために、強みであるモノづくり産業の活性化と、工業・商業への支援、企業との連携を強化するとともに、新たな生活様式に適應したデジタル・スマートシティの実現に向けて、市民の利便性向上や自治体運営の効率化を図ります。

コロナ禍を機に、生活や働き方が大きく変容しています。地方回帰に傾いている今こそ、『「ひと・自然・業(わざ)」がつながり』、社会情勢や人々のニーズを的確に捉え、湖西市への移住定住につなげます。湖西市は、「働くまちから 働いて暮らすまちへ」生まれ変わります。

■ 「重点」施策と「重点」基本事業

	重点施策	重点基本事業
暮らす	公共交通	● デマンド型交通の充実 ● B a a Sの推進
	結婚・出産・子育て	● 保育の拡充
	住環境	● 土地の有効活用促進 ● 畜産臭気対策
	移住定住促進	● マイホーム取得者へのアプローチ
	デジタル・スマートシティの実現	● 市民向けサービスの向上
働いて	モノづくり産業の活性	● モノづくり産業ネットワークの構築 ● モノづくり人材育成
	工業・商業	● 企業立地の促進

実践計画の体系図

基本構想

実践計画

KOSAI 2040

戦略

「ひと・自然・業(わざ)」が
つながり未来へ続くわがまち KOSAI

安心して暮らすことができるまち

結婚・出産・子育ての希望がかなえられ、誰もが活躍できるまち

稼ぐ力に満ち、安心して働けるまち

新たなつながりを築き、新しいひとの流れがあるまち

働くまちから働いて暮らすまちへ「職住近接」

戦略 1

安全・安心、医療、福祉

目標 安心して暮らせるまちとを感じる市民の割合を増やします

戦略 2

結婚、出産、子育て、教育

目標 0～14歳の人口を確保します

戦略 3

産業

目標 市民の所得と製造品出荷額を回復します

戦略 4

交流

目標 人口社会増減±0を目指します

I 期 (2021 ~ 2025年度)

施策

重点施策・重点基本事業

その他の施策

公共交通

- デマンド型交通の充実
- BaaSの推進

防災

交通安全
防犯

消防
救急

地域医療

健康

福祉

廃棄物
上下水道

道路

結婚・出産・子育て

- 保育の拡充

学校教育

生涯学習
スポーツ振興

共生社会

モノづくり産業の活性

- モノづくり産業ネットワークの構築
- モノづくり人材育成

就業支援

農業
漁業

工業・商業

- 企業立地の促進

住環境

- 土地の有効活用促進
- 畜産臭気対策

自然環境

観光振興

移住定住促進

- マイホーム取得者へのアプローチ

横断的戦略

持続可能な発展のために

デジタル・スマートシティの実現
● 市民向けサービスの向上

行政経営

安心して暮らすことができるまちをつくる

戦略方針

安全・安心な社会を構築するため、市民の命を守る危機管理体制を一層充実するとともに、いつまでも健やかに暮らせるまちをつくりまします。

- 1 大規模災害や交通事故・犯罪への対策を強化するとともに、消防・救急や医療体制等の充実を図り、有事への備えを整えます。
- 2 超高齢社会に対応するため、交通弱者に配慮した地域の公共交通や移動サービスの充実を図ります。
- 3 安心して必要な医療が受けられるなど生涯を通じて健康に暮らせる環境を整え、超高齢社会に的確に対応します。

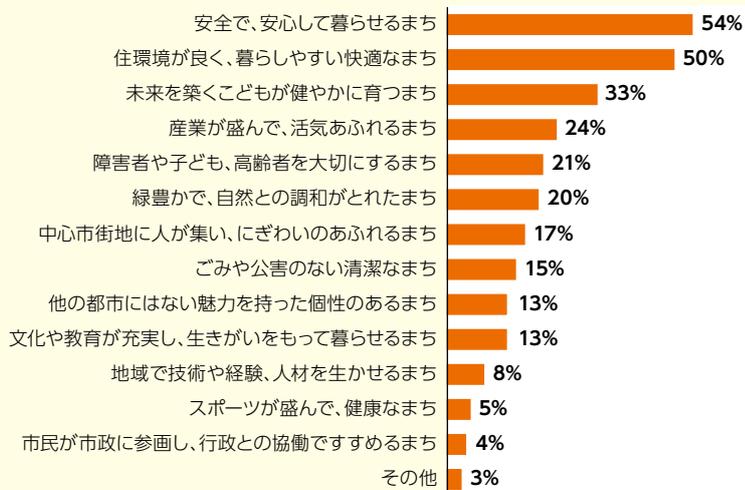


▲湖西フォトコンテスト入賞作品

戦略目標

安心して暮らせるまちと感ずる市民の割合 (市民意識調査結果)

84.3%(2020年度) → 88.0%(2025年度) → 95.0%(2040年度)



総合計画市民アンケート「湖西市はどのようなまちになると良いと思いますか?3つまで」

2020年の市民意識調査では、「湖西市は安心して暮らすことができるまちだと思いますか」の設問に対し、84.3%の市民が「思う」「まあまあ思う」と回答しています。

また、2019年に実施した総合計画市民アンケートでは、「湖西市はどのようなまちになると良いと思いますか」の設問に対し、54%の市民が「安全で、安心して暮らせるまち」と回答し、最も高い結果となっています。

戦略①では、安心して暮らせるまちと感ずる市民の割合を伸ばすことを目標とします。

結婚、出産、子育ての希望がかなえられ、誰もが活躍できるまちをつくる

戦略方針

未来の湖西市のために、安心して出産・子育てができる環境を整備するとともに、子どもたちが安心して学習できる環境の充実に努め、誰もが活躍できるまちをつくります。

- 1 誰もが結婚・出産・子育ての幸福感を享受できるよう不安や問題を排除し、それぞれのライフステージに応じて、必要な支援や情報提供を行います。
- 2 就学前から中学校まで切れ目のない学ぶ環境を整え、子どもたちの自立する心、創造する力を育み、健やかな成長を後押しします。
- 3 性別、年齢、国籍などに関係なく、生涯にわたっていきいきと生活できるよう、働き方の見直し支援や多様な人材の活躍を促進し、誰もが活躍できる環境を整えます。



▲湖西フォトコンテスト入賞作品

戦略目標

0～14歳の人口(住民基本台帳)

7,211人(2020年3月末) → 6,600人(2025年3月末) → 7,100人(2040年3月末)

	0～4歳	5～9歳	10～14歳	合計
2020.3末	1,974人	2,493人	2,744人	7,211人
	↓▲224	↓▲519	↓▲251	↓▲994
現状推移5年後	1,750人	1,974人	2,493人	6,217人
	↓+350	↓+26	↓+7	↓+383
戦略目標5年後	2,100人	2,000人	2,500人	6,600人

湖西市の2020年3月末の住民基本台帳の年齢別人口をもとに5年後の目標設定をします。
 2020年3月末の0～4歳の人口層は5年後には5～9歳になっています。
 同じく5～9歳の人口層は10～14歳になっています。
 この戦略では、0～4歳の人口層の獲得及び5～14歳の人口層の定着を最終ゴールとします。

戦略②は、湖西市が持続的に発展していくための重要な戦略となります。湖西市で生まれ、育ち、次代を担う、この流れを途絶えさせてはなりません。

少子化に歯止めをかけるために、0～14歳の人口、特にファミリー層の定住による0～4歳の人口の確保が重要です。

稼ぐ力に満ち、安心して働けるまちをつくる

戦略方針

持続的な経済の発展を実現するため、市外への所得と消費の流出抑制を図り、市内でより多くのお金を循環させる稼ぐまちをつくりまします。

1 職住近接や賑わい創出につながる取組を積極的に推進するとともに、産業の事業承継や新たな企業立地を支援し、経済の発展と市民生活の向上を図ります。

2 若者だけでなく、女性や高齢者に対し就労支援を行い、働く意欲に応えます。

3 新型コロナウイルス感染症の感染拡大やインフラ整備などによる社会情勢の変化、これらによる産業への影響を的確に捉え、誰もが安心して働き続けられるよう、迅速かつ臨機応変に対応するとともに、将来を見据えた取組を進めます。



▲湖西フォトコンテスト入賞作品

戦略目標

市民の所得(個人住民税の総所得金額)

934億円(2019年度) → 934億円(2024年度) → 950億円以上(2040年度)

製造品出荷額(工業統計)

1兆7,328億円(2018年) → 1兆7,500億円(2024年) → 1兆8,000億円以上(2040年)



個人住民税の総所得額は、湖西市の稼ぐ力のバロメーターです。リーマンショックの影響により下降した総所得額も、2011年以降順調に回復してきました。しかし、2020年は新型コロナウイルス感染症の影響で再び下降が想定されています。戦略③では、2024年までに2019年の水準まで回復することを目標に掲げます。

働くまちとして製造品出荷額についても同様に2019年水準までの回復を目標とします。

新たなつながりを築き、新しいひとの流れのあるまちをつくる

戦略方針

湖西市への移住定住を促進するため、産業、自然、レジャー、歴史文化の全てを備える湖西ならではのライフスタイルや魅力を発信し、多くのひととつながりを築きます。

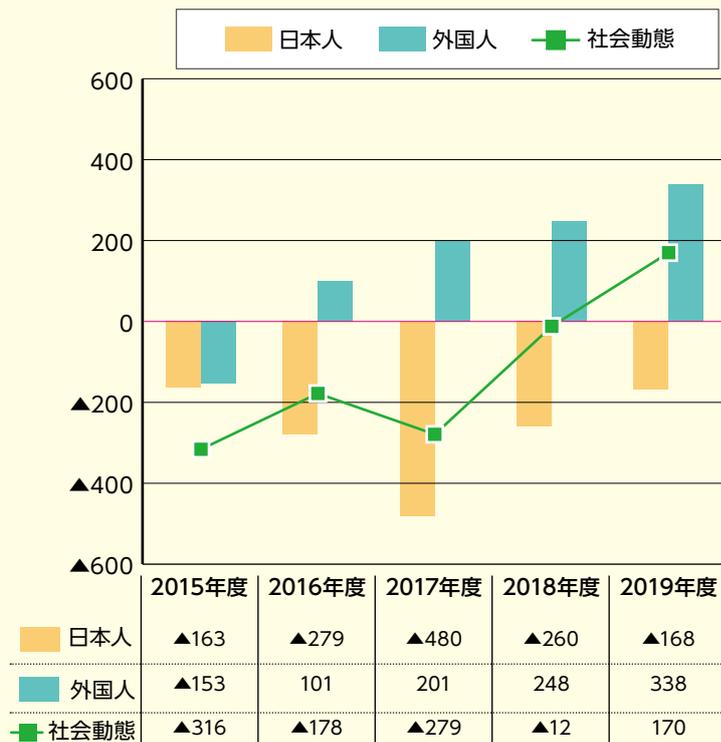
- 1 新型コロナウイルス感染拡大などに伴う新たな働き方や生活様式の変化を好機と捉え、湖西への新たな移住者の定着を図るとともに、首都圏など市外への若者の流出を防ぎます。
- 2 湖西への関心や関わりを築いてもらうため、魅力ある地域資源を最大限に活用し、積極的に市内外に向け情報発信をします。



▲湖西フォトコンテスト入賞作品

戦略目標

人口社会増減数(住民基本台帳) 2021年4月から2026年3月までの
5年間で人口社会増減±0



国籍別の社会動態推移
 2015～2019年度の5年間で▲615人となっています。

人口の増減の要因は、出生・死亡による自然動態と転入・転出による社会動態に分類されます。この戦略では、住環境の改善や移住定住プロモーションなどの施策により、転入・転出による社会動態が均衡となる目標を設定します。

2015年度から2019年度までの社会動態は、日本人は2017年度以降、減少数が少なくなる傾向がみられます。外国人については、2016年度以降、増加傾向にあります。



概要版



第6次 湖西市総合計画

第2期 湖西市 まち・ひと・しごと創生総合戦略

「ひと・自然・業(わざ)」がつながり 未来へ続く わがまち KOSAI